



総合教育センターだより



京都府総合教育センターは創立30周年を迎えました

Be Connected

平成23年2月16日(水)
第23号(通算第106号)
京都府総合教育センター
TEL 075-612-3266

初任者・新規採用者研修

409名、いよいよ飛躍!

今から!ここから!

平成22年度初任者・新規採用者研修の校外研修が2月3日の「教育実践」講座をもって修了しました。勤務校研修・校外研修を終えた409名は、いよいよ新たなステージに立ち、教育実践を展開していく時を迎えました。これまでの主な研修を御紹介します。

◆授業力の向上(教科教育講座)

年間を通して、校種別に「**模擬授業**」を実施しました。少人数できめ細かな授業研究を行い、密度の高い研修になりました。

各教科等の目標、指導内容等の基本的知識技能の習得と教育実践の充実に向け、理論と実践の両面から研修を深めました。



10/14 中学校教科教育



10/7 高等学校教科教育

◆コミュニケーション能力の向上

専門家による「**コミュニケーション**」講座では、日常のコミュニケーションを見直し、効果的な関わりについて習得しました。

「教職員として見るべきもの、児童・生徒に伝えるべきものは何か」「聴くというのは、どういうことか」等、基本を学びました。



7/8 コミュニケーション講座



7/8 コミュニケーション講座

◆触れる・体感する(体験講座)

「**京の伝統文化体験**」講座では、京都の伝統と文化に関する講義や体験を通して、「ふるさと京都」への理解と愛情を深めました。

「**防災体験**」講座では、暗中・煙中避難誘導、心肺蘇生法・AED使用法、放水体験の訓練など、貴重な体験をしました。



8/5 京都伝統工芸大学校



11/18 京都府消防学校

◆展望を持つ(教育実践講座)

「**テーマ研修**」として、一年間の教育実践と各自の研究テーマの成果と課題から、これからの実践について協議しました。

「**実践発表**」では、各校種の代表が、一年間の汗と涙と感動の日々を振り返り、新たな展望を互いに確認し合いました。



2/3 教育実践講座



2/3 教育実践講座

初任者・新規採用者の声



模擬授業では、ねらいを明確にした授業をすること、児童生徒の実態に合わせて様々な工夫をすることが大切であることを学んだ。



子どもは「やること」がわかれば頑張れる。「私はできるんだ」を味わえば、時間を経て回数を積めば必ずできることを知った。



「教師は授業が勝負」という言葉を常に心に置いて日々の教材研究を入念に行い、子どもたちに分かる授業を提供していきたい。



京都府の教員としての自覚をもって、日々の教育実践に臨みたい。特に一人一人を大切にしたい学級経営を意識していきたい。



何よりも学校が組織であることを自覚し、組織の一員として緊密な報告・連絡・相談を欠かさないようにしたい。



国語科の授業展開として「書く場の設定」「言葉の働きを振り返る場の設定」等、「京都メソッド」を知り改善点が分かった。



求められる京都府の教員像



『教師力』向上のための指針（平成19年6月）の中に「求められる京都府の教員像」として5点示されています。これは初任者をはじめ教員にとっては、不断に意識し省みるべきものです。ここで今一度、その教員像を紹介します。

○児童生徒に対する教育的愛情と、教職に対する使命感・情熱を持っていること。

○豊かな感性を持ち、明朗かつ健康で、人間的魅力にあふれていること。

○高い「授業力」を持ち、児童生徒に確かな学力をつけることができること。

○社会的良識と自ら学ぶ意欲を持ち、児童生徒や保護者、職場の同僚、地域の人から信頼されること。

○「ふるさと京都」への理解と愛情を深めるとともに、国際的な視点に立った教育を推進することができること。



センターが教職員の皆様に募集した

「受けてみたいな、こんな講座」が決定！

- ◆皆様から「気象学」「コミュニケーション」「言語技術」「生徒指導」「人権教育」等、様々な御提案をいただきました。
- ◆伊根町立伊根小学校岡田志朗先生の御提案「雲を見て、空から学ぶ気象学」講座を平成23年度新規講座として実施することとなりました。身近な自然の一つである「天気」について、実際に雲を見て空から学ぶ授業を進めるための知識や技能を習得します。
- ◆なお、今回、講座にできなかった御提案につきましても、可能な限り、研修講座に取り入れ反映させていきたいと考えています。御提案ありがとうございました。



センターからの一言

「美しいもの」「崇高なもの」が目の前にあっても、それに気付く力がなければ仕方がない。研ぎ澄まされた感性と磨き抜かれた知性で、一つ一つを見極めていきたい。